

Secure Back® 4 動作要件

Secure Back® Manager = 集中管理用ソフトウェア
Secure Back® Client for PC = PC用クライアントソフトウェア
Secure Back® Client for Server = サーバ用クライアントソフトウェア
Secure Back® Enterprise Manager = 統合管理用ソフトウェア

■ Secure Back® Manager Secure Back® Enterprise Manager

オペレーティングシステム (32ビット/ 64ビット、日本語版のみ)	Windows Server 2003 R2 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2003 R2 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2008 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2008 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2012 Standard / Enterprise Windows Storage Server 2012 Workgroup / Standard ※ WindowsのFSRM(ファイルサーバーソリューションマネージャー)機能を有効にしてください。
CPU	Intel, AMD または互換プロセッサ
メモリ	サーバ用プロセッサを推奨 2GB以上のRAM ※お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。
ハードディスク空き容量	CDドライブに20GB以上の空き容量
ハードディスクの構成	任意のドライブをシステム領域とデータ領域に使用します。
通信ポート	※ NFS ファイルマウントされたローカルディスクであることが必要です。 インバウンドポート: HTTP(TCP80※1)、ファイル転送(TCP26000※2) バックアップサーバ内部通信ポート: TCP26000※1※3、TCP3306※1 アウトバウンドポート: HTTPS(TCP443※4) SMTP(TCP25※5) ※1 インストール時に任意のポートに変更可能 ※2 Secure Back Enterprise ManagerはTCP26000-26999 の1000ポートから動的に使用 ※3 設定したポートから接続する1000ポートを動的に使用 ※4 Secure Back Managerのアップデート機能利用時に使用。プロキシサーバにも対応 ※5 メール送受信機能利用時のみ。お使いのSMTPサーバに合わせて任意のポートを指定可能
対応Webブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8.0 以降 ※ JavaScriptを利用
その他	LANに接続されていること。 Apache, PHP, MySQL(それぞれ各バージョン)がインストールされていないこと。

■ Secure Back® Client for PC

オペレーティングシステム (32ビット/ 64ビット、日本語版のみ)	Windows XP Home / Pro (SP1以降を含む) Windows Vista 各エディション (SP1以降を含む) Windows 7 各エディション (SP1以降を含む) Windows 8 各エディション Windows 8.1 各エディション
CPU	Intel, AMD または互換プロセッサ
メモリ	1GB以上のRAM ※お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。
ハードディスク空き容量	インストールに30MB以上の空き容量 ログ領域に100MB以上の空き容量 メールバックアップ時は、メールデータと同容量のテンポラリ領域が必要となります。 ※メールによってはテンポラリ領域を使用しません。
その他	LANに接続されていること。

■ Secure Back® Client for Server

オペレーティングシステム (32ビット/ 64ビット、日本語版のみ)	Windows Server 2003 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2003 R2 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2003 R2 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2008 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2008 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup / Standard / Enterprise (SP1以降を含む) Windows Server 2012 Standard / Enterprise Windows Server 2012 R2 Standard / Enterprise Windows Storage Server 2012 Workgroup / Standard
CPU	Intel, AMD または互換プロセッサ
メモリ	2GB以上のRAM ※お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。
ハードディスク空き容量	インストールに30MB以上の空き容量 ログ領域に100MB以上の空き容量
その他	LANに接続されていること。

※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。
※ 動作要件の最新情報はアール・アイのWebページにてご確認ください。
※ 掲載している画面はすべて開発中のものです。
※ Secure Backはアール・アイの登録商標です。
※ その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

集中管理型バックアップソフト

Secure Back® 4

製品カタログ



株式会社アール・アイ

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 神田本願ビル
tel 03-6853-7800 fax 03-6853-7801
<http://www.ri-ir.co.jp>

お問い合わせ・ご用命は



株式会社アール・アイは、
情報セキュリティマネジメントシステム(以下ISMS)の
国際規格ISO/IEC 27001:2005、
国内規格JIS Q 27001:2006取得企業です。

SB41311

対応

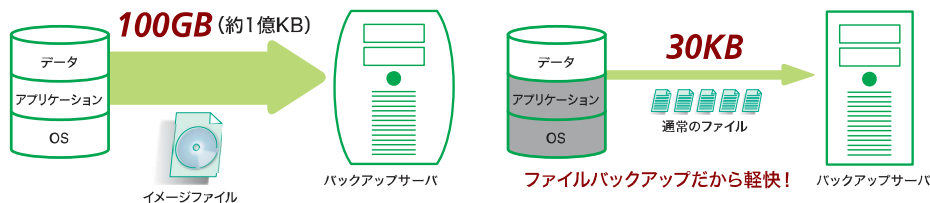
Windows **8.1** Windows Server **2012 R2**

意識せず軽快に使えるデータバックアップソフト

軽快に使えるヒミツ

ファイルバックアップ 瞬時にバックアップを終わらせコンピュータに大きな負荷をかけません

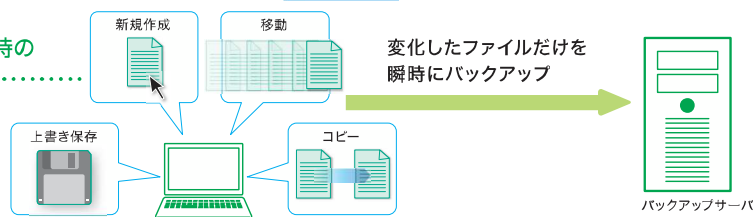
■イメージバックアップの場合..... ■ファイルバックアップなら.....



5種類のバックアップタイミング バックアップ元ごとに最適なバックアップタイミングを選べます

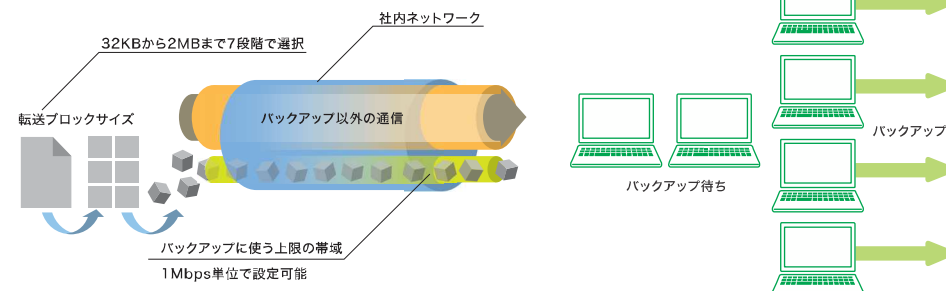


■リアルタイム時の動作イメージ.....

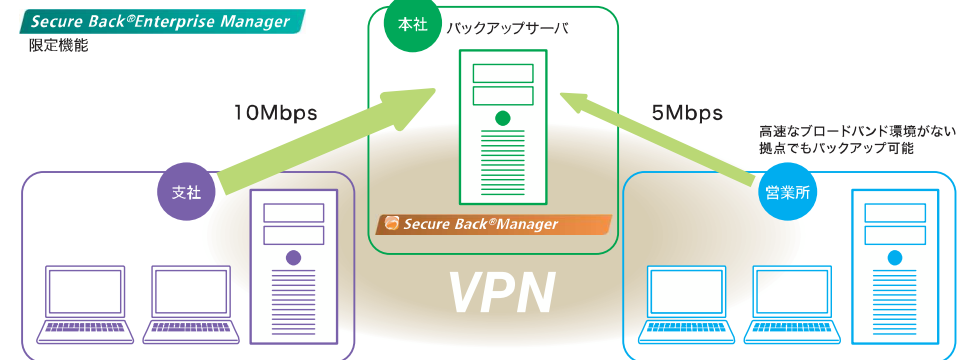


ネットワーク制御 バックアップによるネットワーク負荷をコントロールします

■転送ブロックサイズ制御と帯域制御..... ■転送セッション数制御

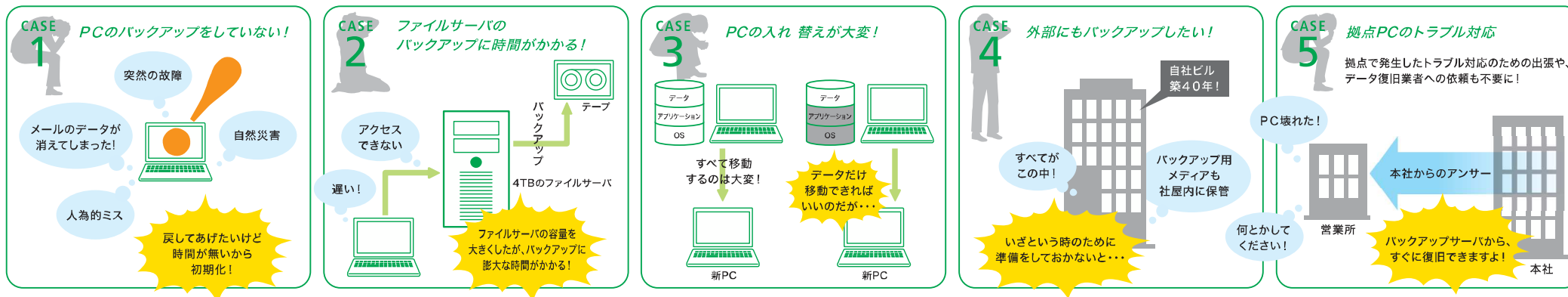


■拠点ごとに帯域制御.....



こんなシーンで活躍

実はTCO(総所有コスト)削減に大きく貢献!



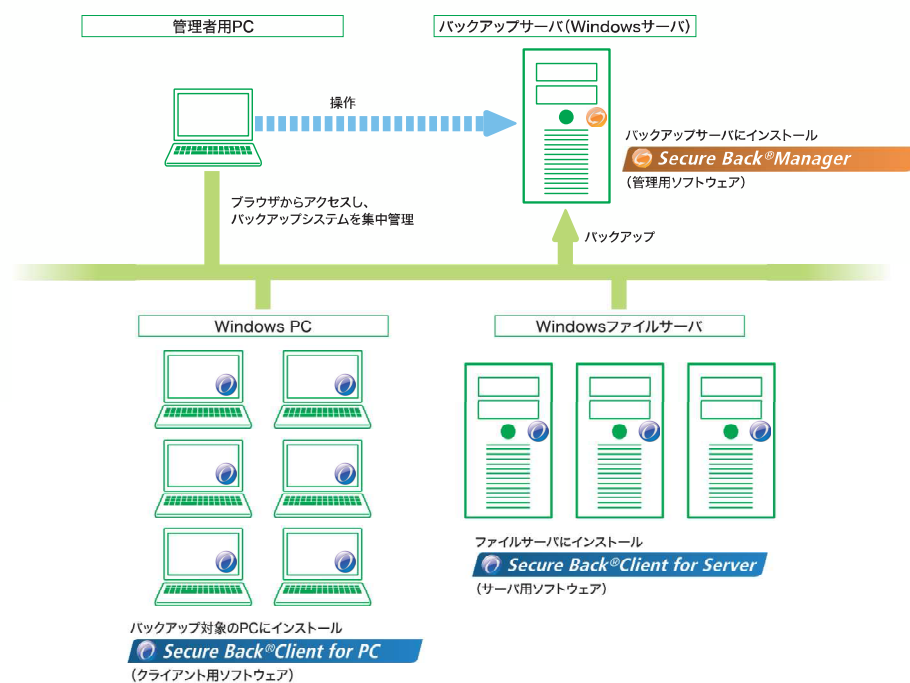
Secure Back®4のシステム構成

すべてのバックアップ設定は管理者が行い、
クライアントはその設定に従って自動的に動作します。

本社

管理者のPCからSecure Back®Managerの 直接操作が可能です

ブラウザから [http://\[バックアップサーバIPアドレス\]/](http://[バックアップサーバIPアドレス]/) にアクセス



CLOUD

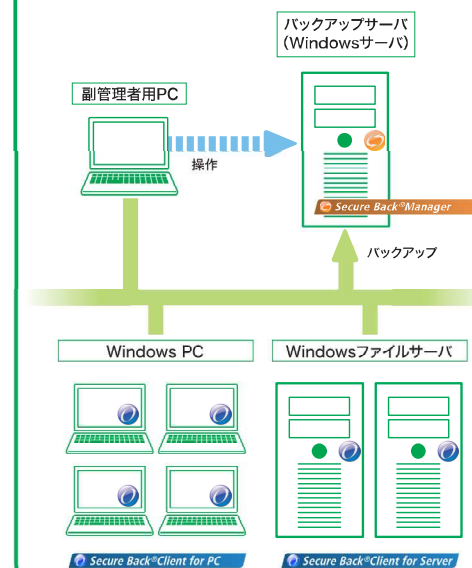
Secure Back®クラウドオプション

※詳細は10ページへ

バックアップデータを専用クラウド環境にも転送
DR・災害対策に最適なオプションです

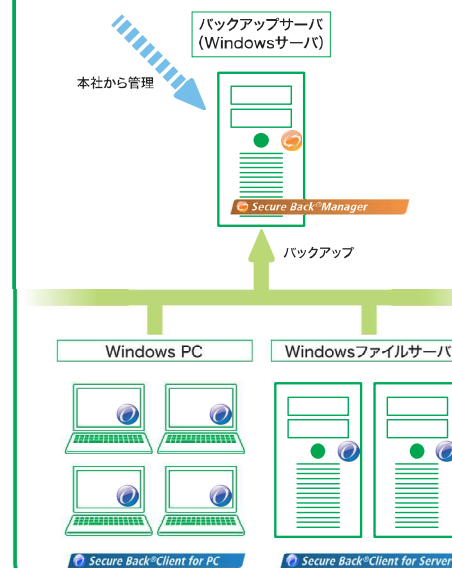
支社

権限を限定して 副管理者を指定できます



営業所

適任者がいなければ ネットワーク経由で管理できます



Secure Back®Enterprise Manager

※詳細は11ページへ

(統合管理用ソフトウェア)

複数の拠点でSecure Back®をご利用いただくお客様が統合管理できるようになりました。
ディスク分析による可視化をはじめ、グループ機能によるネットワーク設定や
登録ユーザ移動など、運用工数を削減する様々な機能を実装しています。

拡張可能

Secure Back®Manager ユーザ管理画面

わかりやすい管理画面で導入もスムーズ

ユーザ設定



バックアップ設定は全体でもグループ単位でも個人単位でも設定可能

バックアップ容量の上限値を設定

転送速度の上限値を設定

ユーザをインポート



大量のユーザ登録作業もインポート機能で一括登録

テンプレートを使ってインポートすれば面倒な初回のユーザ登録が一度で完了します。

暗号・圧縮などの選択



暗号化/圧縮の選択

暗号・非暗号、圧縮・無圧縮をユーザごとに切り替えられます。圧縮機能を使用するとバックアップデータの容量を大幅に削減することが可能です。

Secure Back®Manager バックアップ設定画面

チェックを入れるだけの簡単設定

PCクライアント用設定画面

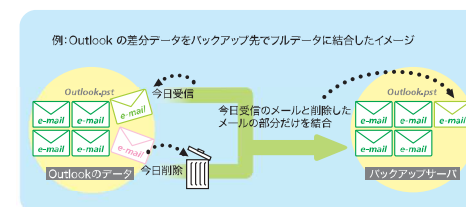


任意のフォルダは最大50個設定可能

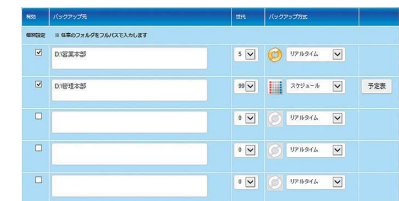
バイナリ差分と差分結合

メールデータが1ファイルに集約されるOutlook、Outlook Express、Thunderbirdでは、変化したバイナリの差分のみを転送し、バックアップ先でフルデータと結合する独自の差分バックアップ方式*を採用しています。転送量を最小限にすることでネットワークにかかる負担を抑えています。

※PC側にテンポラリ領域としてバックアップ対象データと同じ空き容量が必要です。



サーバクライアント用設定画面



任意のフォルダを最大50個まで設定可能です。

5種類のバックアップ方式から選択

メールのバックアップに完全対応

メールクライアントを立ち上げたままで全自動でバックアップします。

バックアップされるデータ

メッセージデータ	添付ファイル
アドレス帳	迷惑メールフィルタ
メッセージルール	ごみ箱
アカウント情報(※パスワードはバックアップされません)	

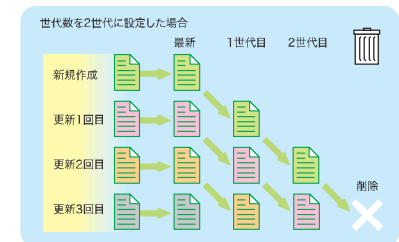
対応メールクライアント

Outlook Express
Outlook (Outlook 2003 以降)
Windows メール/Windows Live メール
Becky! / Thunderbird

※Outlookは自動終了・自動起動ロジックでの動作となります。
※2014年V5.5対応予定

最大99世代まで保存可能

1回の更新につき1世代保存するので、大切なデータを間違えて上書きしてしまった場合でも最大「99回前に保存したデータ」まで遡って復旧することができます。

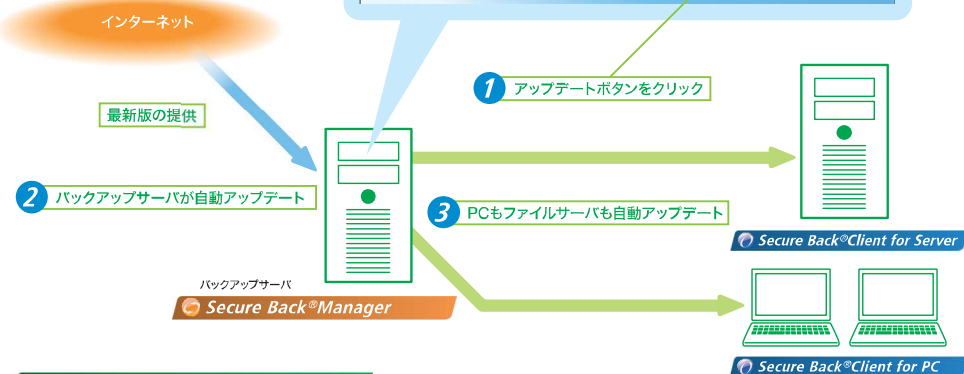
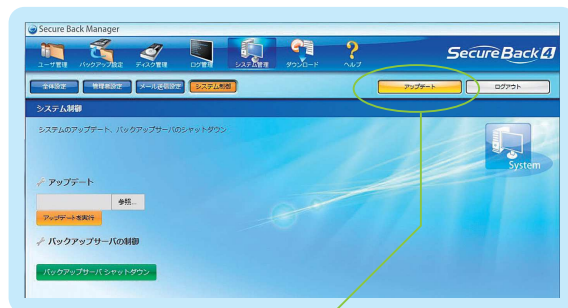


Secure Back®4の多彩な機能

充実した機能が様々なシーンで運用を助けます

アップデートの方法

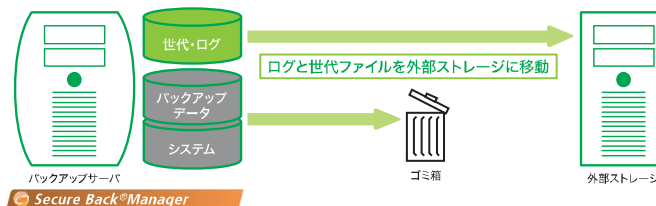
Secure Back®4の保守に加入していれば、常にSecure Back4を最新の状態でご利用いただけます。最新版の提供が開始されるとSecure Back®Managerにアップデートボタンが現れ、クリックするとクライアントを含め自動的にアップデートが実施されます。



外部ストレージへのコピーとアーカイブ

バックアップデータの複製、世代やログデータの移動、削除を、指定したスケジュールで実行できる機能です。バックアップデータの複製先や世代・ログデータの移動先にはローカルディスク以外のストレージも選択可能です。

※テープメディアには対応していません。



制限付き管理者

管理者権限を機能・設定項目別に、新たな管理者に付与する機能です。機能の特権や、グループの特権を振り分けることで円滑なシステム運用が可能になります。



オートコンプリータ

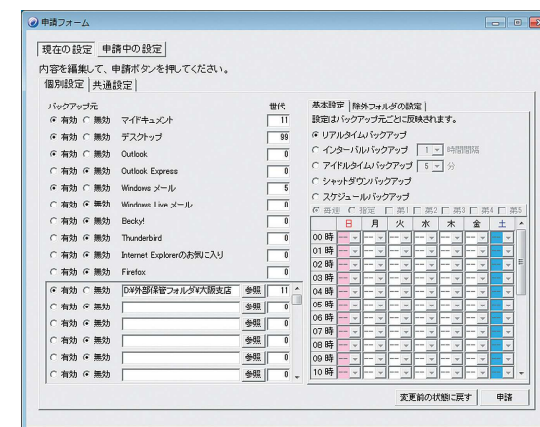
オートコンプリータはクライアント端末のバックグラウンドで動作し、バックアップの整合性を監視しています。バックアップの失敗や漏れを検知すると自動的にバックアップを実行するため、管理者が気にかかることなくバック

アップの完全性を高めてくれます。オフライン中に更新されたファイルもネットワークへの接続後にオートコンプリータが発見・自動バックアップしてくれるので、外出の多いノートPCユーザーでも安心してご利用いただけます。



バックアップ設定申請

バックアップ対象のフォルダやファイルなど、希望する詳細なバックアップ設定を、クライアントが管理者に申請する機能です。管理者は承認ボタンをクリックするだけで、申請内容が自動的に反映されます。また、申請機能は管理者側の設定でOFFにすることも可能です。



バックアップサーバの管理

バックアップサーバの容量や各種ログなどを管理できます。またオフィスの計画的な停電時に、遠隔からシャットダウンすることが可能です。

ディスク管理画面

福島の使用状況

使用領域: 30%	空き領域: 70%
ログイン	300 GB
上層領域	997 MB
下層領域	290 GB

バックアップ先	使用領域
マイドキュメント	392 MB
デスクトップ	456 MB
Outlook	544 KB
任意のバックアップ先	196 MB
Thunderbird	1.05 MB

バックアップ先ディスクの容量確認

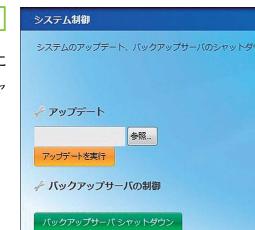
ログ管理画面

操作履歴	日時	IPアドレス	操作種別	内容
リストア	2013-10-20 18:57:19	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
リストア	2013-10-20 18:53:49	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
リストア	2013-10-20 18:51:46	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
管理権	2013-10-20 18:50:22	172.19.127.80		ログイン
バックアップ設定	2013-10-20 16:51:58	192.168.10.104	管理本部	バックアップ設定の変更:グループ
バックアップ設定	2013-10-20 16:51:37	192.168.10.104	管理本部	バックアップ設定の変更:グループ
ユーザ管理	2013-10-20 16:39:33	192.168.10.104	五十嵐	ユーザ設定の変更

バックアップ、メンテナンス、オペレーション、アップデートのログを確認可能

サーバ・シャットダウン機能

Secure Back®Managerにログインし、ワンクリックでシャットダウンが可能



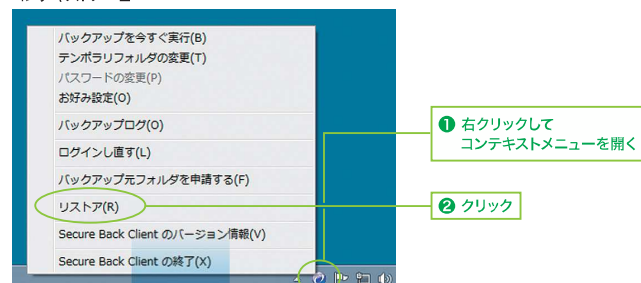
簡単、確実なリストア

ケアレスミスも、重大な故障時も、消失したデータを即座に復旧

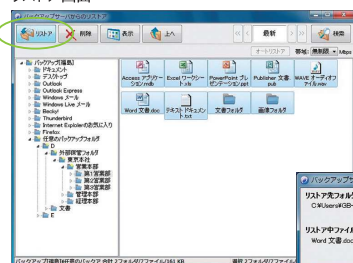
PCから起動できるリストア

Secure Back®4のリストア機能はPC上から起動することができます。管理者に依頼することなく一般ユーザが自分自身で実行できるので、うっかり消してしまったデータをユーザ自身ですぐに復旧が可能です。もちろん管理者なら、すべてのバックアップデータをリストア可能です。また、ファイルの検索機能も備えているので、必要なファイルを簡単に探し出すことができます。

コンテキストメニュー



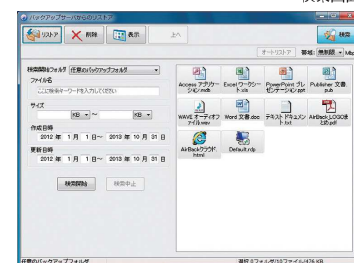
リストア画面



リストア実行



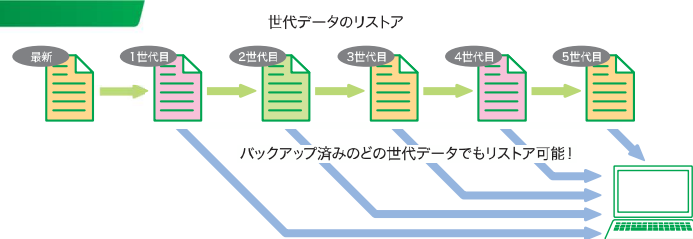
検索画面



リストア時に自動で復号化されます。
転送中のファイルの進捗度合い(上段)と、リストア対象ファイルサイズ総量に対する転送済みサイズ(下段)が簡単にわかります。

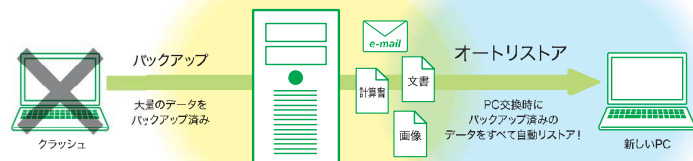
世代ファイルからのリストア

貴重なデータを誤って修正してしまい、元に戻さなければならなくなった場合でもSecure Back®4なら大丈夫。設定した世代数まで更新前のデータをいつでもリストア可能です。



オートリストア

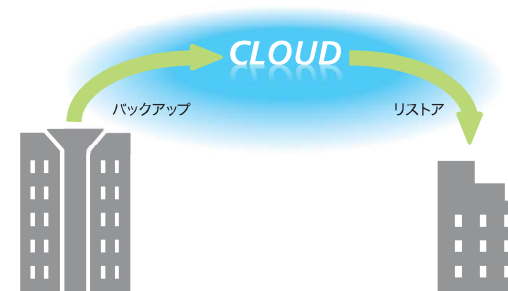
すでにバックアップ済みのデータを、新しい環境にすべて自動でリストアする機能です。たとえば、マイドキュメントのデータは新環境のマイドキュメントに自動でリストアされ、PC入れ替え時のデータ移行を、手間をかけずに全自動で実施できます。



以前にバックアップしたデータを元あった場所に自動復旧します。
PCがクラッシュしてもOSとSecure Back®Clientのインストールが終了すれば自動的にデータが復旧されます。

クラウドへのバックアップ

大切なバックアップデータだから専用クラウドへ



故障時でも災害時でも確実にリストア

Secure Back®クラウドオプションを購入すれば、オール・アイが提供する専用クラウド環境を外部保管場所として利用できます。クライアント端末が故障した場合はまずバックアップサーバからリストア。仮にバックアップサーバが故障してもクラウドからリストアできます。万一の災害時には支社などの遠隔地からクラウドへ直接接続してリストアが可能になります。

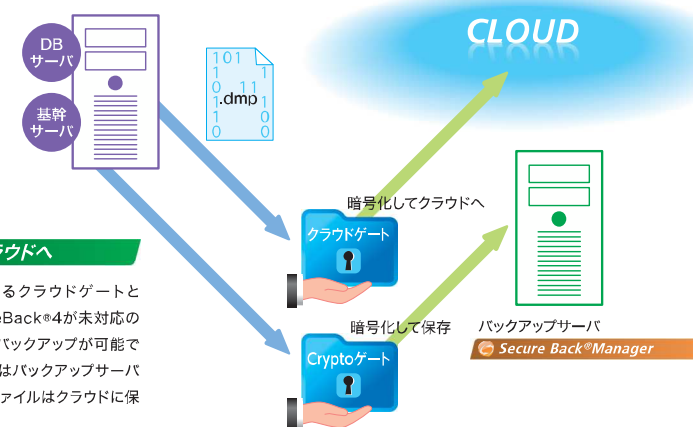


国内複数IDCを利用、距離間は数百km以上

Secure Back®4で暗号化されたデータは、お客様環境のバックアップサーバからソフトウェアVPNによって暗号化された経路を通り、複数の国内クラウド環境へバックアップされます。クラウド間は数百km以上離れており自然災害などで同時にデータを消失することは事実上ないと言って過言ではありません。また、法人企業での利用を考慮して、Secure Back®4で使う全てのクラウドは国内に存在し、バックアップデータが国外に出ていくことは一切ありません。一般的なパブリッククラウドをバックグラウンドに使用していないSecure Back®のために用意された専用クラウド環境なので、セキュリティポリシーの高い企業でも安心してご利用いただけます。

Windows以外のデータもクラウドへ

バックアップサーバに自動生成されるクラウドゲートとCryptoゲートを活用すれば、SecureBack®4が未対応のOSのデータでも自動的に暗号化してバックアップが可能で、Cryptoゲートに置かれたファイルはバックアップサーバ内に保存。クラウドゲートに置かれたファイルはクラウドに保存されます。

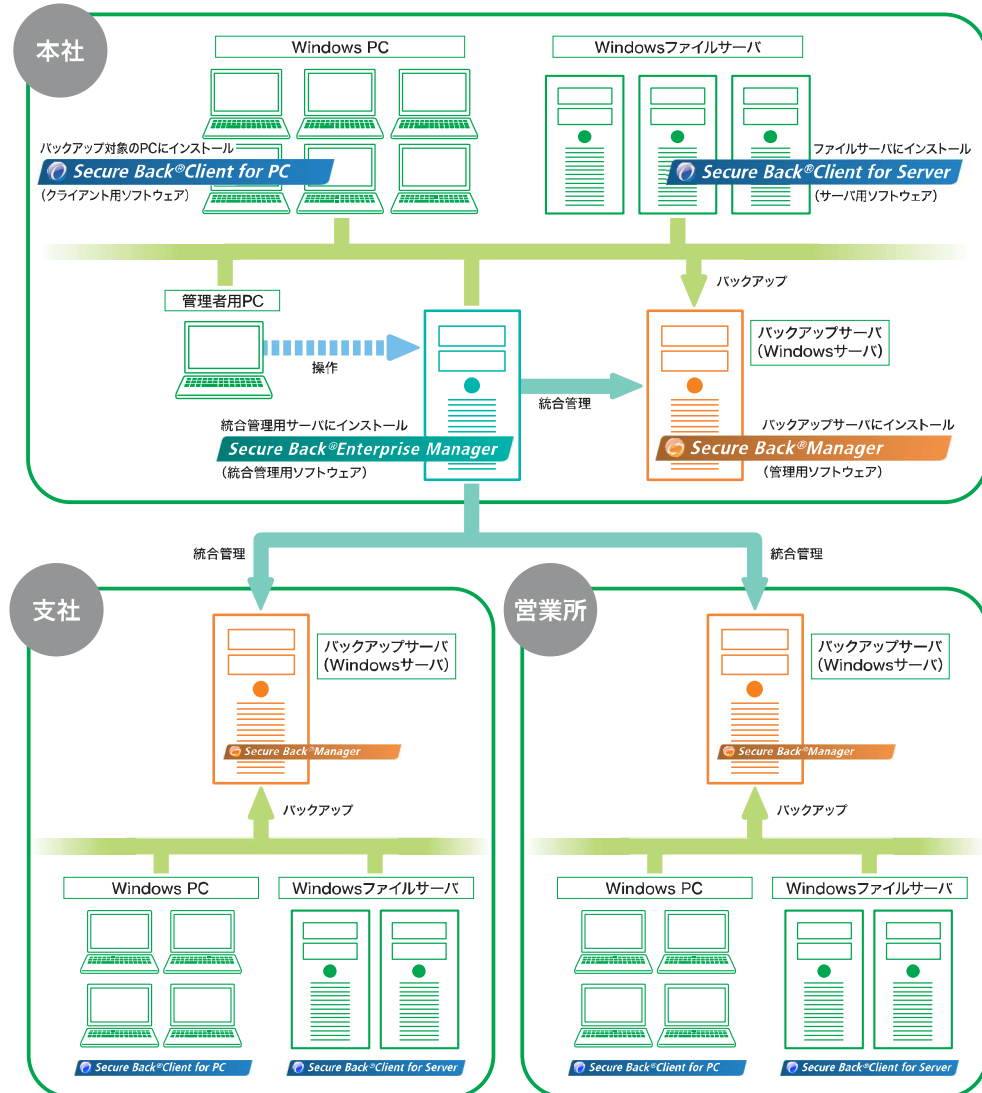


新ライセンス Secure Back®Enterprise Manager

複数システムのバックアップを統合的に管理し運用管理の充実とTCO(総所有コスト)を削減

Secure Back®Enterprise Manager (統合管理用ソフトウェア)

Secure Back®Enterprise Managerは、複数のSecure Back®を統合管理するためのソフトウェアです。
全システムの稼働状況を直感的に管理できるほか、拠点別の帯域制御やシステム間のユーザ移動、ライセンスの振分けなど、大規模に展開したSecure Back®を効果的にご利用いただくための様々な機能を備えています。



拠点別に帯域制御が可能に

高速なブロードバンド回線が用意できない拠点からWANを経由してバックアップを取る際に、ユーザ単位ではなく拠点単位で「上限帯域」や「セッション数」を設定することができます。



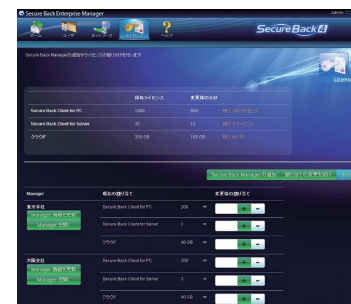
システム間のユーザ移動もラクラク

人事異動などでシステムをまたぐユーザの移動が発生した際でも、管理者がSecure Back®Enterprise Managerの画面上で操作すれば、各システムに対し変更が自動処理されます。



各システムにライセンスの振分けが可能

所有するライセンスを各システムにいつでも振分けができます。クライアントライセンスだけでなくクラウド容量も振分け可能なので、購入したライセンスを最大限活用することができます。



各システムのステータスを直感的に把握

各システムが正常に稼働しているかやディスク容量が足りているかなど、各システムのステータスが一面面で管理できます。プロセッサ、メモリ、ディスク、ネットワークなどのトレンドグラフから、各システムの稼働状況を正確に読み取ることができます。



ホーム画面



トレンドグラフ



ディスク使用量グラフ

Secure Back®4の活用例

既存ユーザ様の上手な活用例をご紹介します

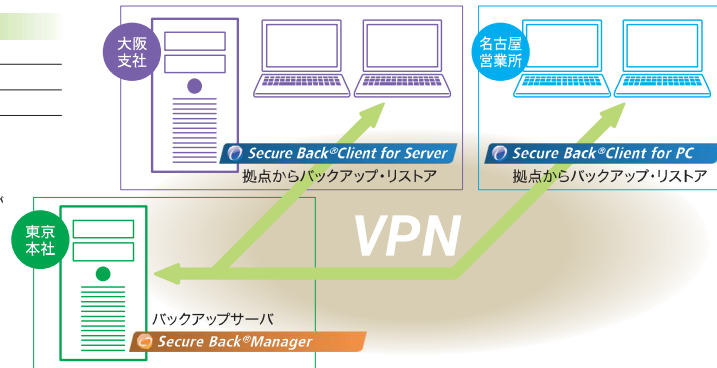
WAN (VPN) 経由のバックアップ

活用する機能

上限帯域制御
同時転送セッション数制御
転送ブロックサイズ制御

- 離れた拠点のバックアップが可能
- 離れた拠点でリストアが可能

※ただし各拠点間を結ぶネットワークにVPN網が構築されている必要があります。

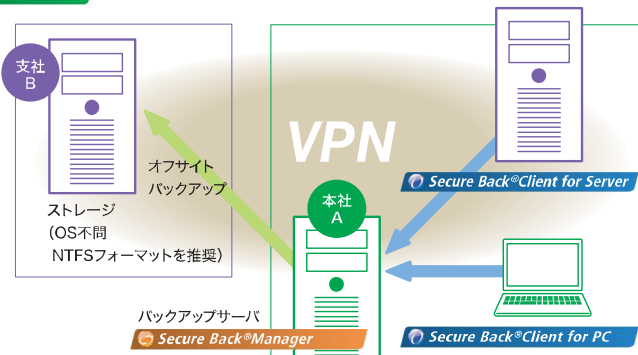


オフサイトバックアップ (バックアップデータの複製)

活用する機能

バックアップデータの複製
上限帯域制御
転送ブロックサイズ制御

- バックアップデータのバックアップが可能
- 万一の災害対策として別サイトへ複製可能
- 日時、週次、月次で実行スケジュールを選択

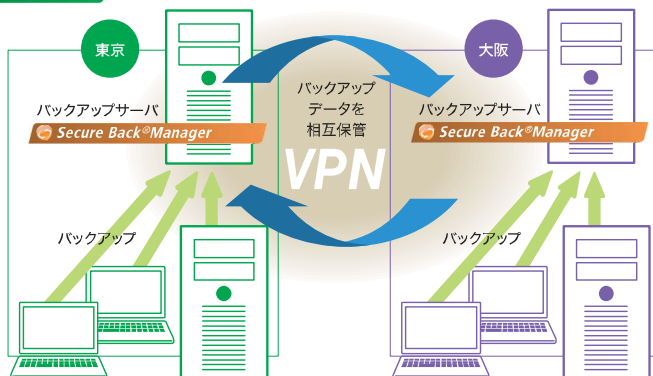


DR・災害対策

活用する機能

バックアップデータの複製
上限帯域制御
転送ブロックサイズ制御

- バックアップデータを完全に二重化
- 万一の災害対策として万全の備え
- LANとWANのパフォーマンスを上手に活用



ライセンス・パッケージ一覧

■ライセンス製品



製品名称	型番
集中管理用ソフトウェア(必須製品)	Secure Back®Manager SB4M
PC用クライアントソフトウェア	Secure Back®Client for PC ランクA (1-49) SB4CPA
	Secure Back®Client for PC ランクB (50-99) SB4CPB
	Secure Back®Client for PC ランクC (100-499) SB4CPC
	Secure Back®Client for PC ランクD (500-999) SB4CPD
	Secure Back®Client for PC ランクE (1000-4999) SB4CPE
	Secure Back®Client for PC ランクF (5000-9999) SB4CPF
	Secure Back®Client for PC ランクG (10000-) SB4CPG
サーバ用クライアントソフトウェア	Secure Back®Client for Server ランクA (1-49) SB4CSA
	Secure Back®Client for Server ランクB (50-99) SB4CSB
	Secure Back®Client for Server ランクC (100-) SB4CSC
統合管理用ソフトウェア	Secure Back®Enterprise Manager SB4EM
クラウドバックアップオプション	Secure Back®クラウドオプション 100GB (1年間) SB4C0100GB
	Secure Back®クラウドオプション 1TB (1年間) SB4C011TB

※ライセンス製品の購入には別途申請が必要です。※すべてのソフトウェアライセンスには初年度保守が含まれています。※クラウドオプションは2014年1月提供開始予定。

■ライセンス製品 保守

製品名称	型番
集中管理用ソフトウェア保守	Secure Back®Manager 保守 SB4MS
PC用クライアントソフトウェア保守	Secure Back®Client for PC ランクA (1-49) 保守 SB4CPAS
	Secure Back®Client for PC ランクB (50-99) 保守 SB4CPBS
	Secure Back®Client for PC ランクC (100-499) 保守 SB4CPCS
	Secure Back®Client for PC ランクD (500-999) 保守 SB4CPDS
	Secure Back®Client for PC ランクE (1000-4999) 保守 SB4CPES
	Secure Back®Client for PC ランクF (5000-9999) 保守 SB4CPFS
	Secure Back®Client for PC ランクG (10000-) 保守 SB4CPGS
サーバ用クライアントソフトウェア保守	Secure Back®Client for Server ランクA (1-49) 保守 SB4CSAS
	Secure Back®Client for Server ランクB (50-99) 保守 SB4CSBS
	Secure Back®Client for Server ランクC (100-) 保守 SB4CSCS
統合管理用ソフトウェア保守	Secure Back®Enterprise Manager 保守 SB4EMS

※保守のお申込みには別途申請が必要です。

■PCバックアップ専用パッケージ

製品名称	型番	製品構成
Secure Back®4 PC Pack 25	SB4PP25	25台までのPCバックアップパッケージ
Secure Back®4 PC Pack 50	SB4PP50	50台までのPCバックアップパッケージ
Secure Back®4 PC Pack 100	SB4PP100	100台までのPCバックアップパッケージ

※パッケージには初年度保守が含まれています。※クライアントPC専用パッケージにライセンスの追加は出来ません。※申請書は不要です。

■PCバックアップ専用パッケージ保守

製品名称	年数	型番
Secure Back®4 PC Pack 25 保守	1年間	SB4PP25S1
	2年間	SB4PP25S2
	3年間	SB4PP25S3
	4年間	SB4PP25S4
Secure Back®4 PC Pack 50 保守	1年間	SB4PP50S1
	2年間	SB4PP50S2
	3年間	SB4PP50S3
	4年間	SB4PP50S4
Secure Back®4 PC Pack 100 保守	1年間	SB4PP100S1
	2年間	SB4PP100S2
	3年間	SB4PP100S3
	4年間	SB4PP100S4

製品の価格はアール・アイのWebページにてご確認ください。パートナー企業にお問い合わせください。

※ 申請書は不要です。



PC Pack専用の保守延長カード